

三重県内経済情勢（平成 23 年 4 月の指標から）

県内経済は持ち直しの兆しがみられたが、東日本大震災の影響により弱まっている。（生産は大幅に減少している。個人消費は弱い動きとなっている。雇用情勢は、生産活動の低下により弱めの動きとなっている。）

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は 3 か月連続で低下し、東日本大震災の影響などから大幅な低下となった。

【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月を 2 か月連続で下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 6 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 5 か月連続で前年同月比減となった。

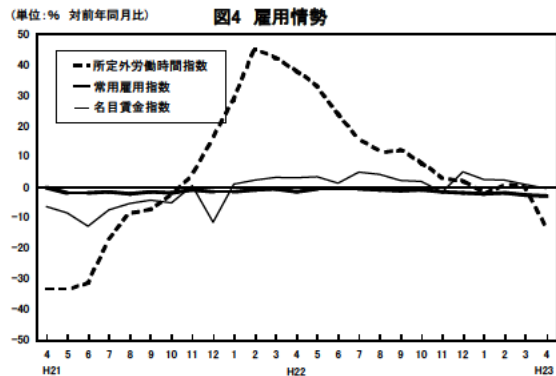
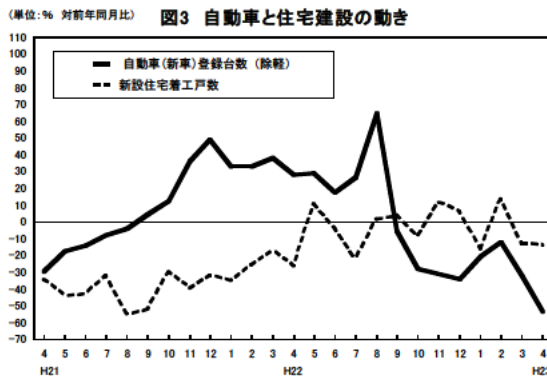
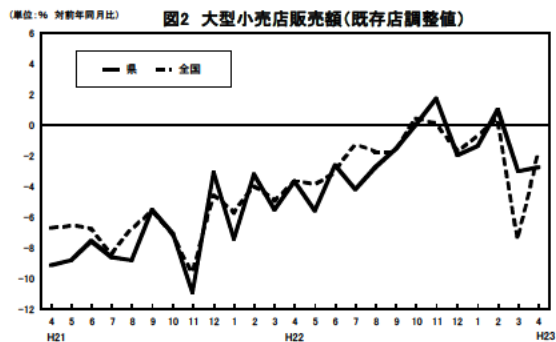
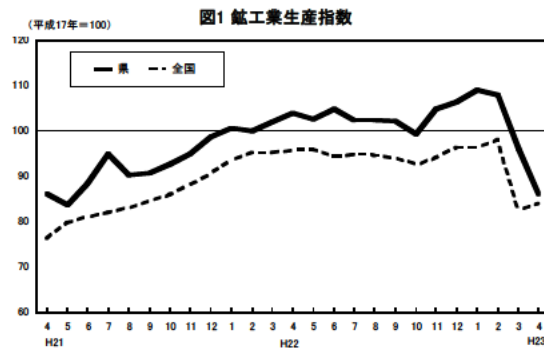
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 8 か月連続で前年同月比減となり【図 3】、軽自動車販売台数は 7 か月連続で前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は、2 か月連続で前年同月比減となった。【図 3】

（雇用）

有効求人倍率は 0.70 倍となり、前月を 0.03 ポイント下回った。

所定外労働時間指数は 3 か月ぶりに前年同月比減、常用雇用指数は 26 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 5 か月ぶりに前年同月比減となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は 86.1 となり、前月比 10.2%減と 3 か月連続で低下した。
- ・ 県内主要 3 業種では、電気機械工業（旧分類）（98.9）が前月比 12.5%減、輸送機械工業（32.9）は前月比 34.9%減、化学工業（80.5）は前月比 18.3%減となった。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H17=100）は 97.7 で、前月比 9.6%減と 2 か月ぶりに低下した。

（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成 14 年 3 月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたもの。）

(前月比：%)	1月	2月	3月	4月
鉱工業生産指数	2.4	-1.0	-11.0	-10.2
（電気機械工業：旧分類）	-2.3	2.6	-22.1	-12.5
（輸送機械工業）	-1.9	-2.4	-34.2	-34.9
（化学工業）	-1.9	4.9	9.3	-18.3
鉱工業生産指数（全国）	0.0	1.8	-15.5	1.6
鉱工業生産者製品在庫指数	0.7	-7.8	5.0	-9.6

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比 2.8%減と 2 か月連続で減少した。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 6 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 5 か月連続で前年同月比減となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比 53.3%減となり 8 か月連続で減少し、軽自動車販売台数も前年同月比 44.6%減となり 7 か月連続で減少した。全自動車では前年同月比 49.7%減と 8 か月連続で減少した。

(前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額（県内既存店）	-1.4	1.0	-3.0	-2.8
〃（全国既存店）	-0.7	0.5	-7.5	-1.9
コンビニエンスストア販売額（5 県全店）	7.6	8.6	9.9	3.8
家電販売額（8 県全店）	-14.7	-0.2	-13.5	-1.1
自動車（新車）登録台数（県内）	-20.3	-11.7	-31.8	-53.3
〃（全国）	-21.5	-14.3	-37.0	-51.0
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-12.9	-17.2	-30.7	-44.6
〃（全国）	-7.8	-9.0	-31.6	-41.1
自動車・軽自動車 合計（県内）	-17.4	-13.9	-31.4	-49.7
〃（全国）	-16.7	-12.4	-35.1	-47.3

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は 727 戸で、前年同月比 13.6%減と 2 か月連続で減少した。

(前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
新設住宅着工戸数	-15.9	13.7	-12.6	-13.6
（参考）（持家）	-4.7	-5.6	-13.8	0.0
（貸家）	-42.4	68.0	-18.6	-37.9
（分譲住宅）	1.7	3.1	16.7	-13.3

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は28億6百万円となり、前年同月比27.5%減と4か月連続で減少した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は10億9千6百万円となり前年同月比40.5%減と5か月連続で減少し、「地方の機関」からの受注工事額は17億1千万円となり前年同月比15.7%減と4か月連続で減少した。

(前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
受注工事総額（県内）	-58.2	-47.5	-53.5	-27.5
国の機関	-68.1	-18.7	-38.1	-40.5
地方の機関	-35.9	-70.6	-64.3	-15.7
受注工事総額（全国）	-15.8	9.5	-9.5	-7.4

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.70倍となり、前月を0.03ポイント下回った。
- ・所定外労働時間指数は、前年同月比13.7%減となり、3か月ぶりに低下した。
- ・常用雇用指数は、前年同月比2.9%減となり26か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は、前年同月比0.5%減となり5か月ぶりに低下した。
- ・完全失業率（全国値、東北3県を除く）は、4.7%で前月を0.1ポイント上回った。

(※前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
有効求人倍率（三重県、倍）	0.68	0.72	0.73	0.70
"（全国、倍）	0.61	0.62	0.63	0.61
所定外労働時間指数※	-2.0	1.0	0.0	-13.7
常用雇用指数※	-2.2	-1.8	-2.5	-2.9
名目賃金指数※	2.5	2.3	0.9	-0.5
完全失業率（全国）	4.9	4.6	4.6	4.7
(参考)完全失業率(三重県:モリ推計値)	3.8(1~3月期)			..

*完全失業率3月及び4月の全国値は、東北3県を除く。

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は8件発生した。負債総額は15億3千7百万円で、前年同月比は124.1%増と4か月ぶりに増加した。

(※%：前年同月比)	1月	2月	3月	4月
企業倒産件数（件）	6	12	10	8
負債総額（%）※	-70.3	-17.8	-65.4	124.1

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は101.4で、前月比は0.2%上昇、前年同月比では0.6%上昇した。

(前月比、※前年同月比：%)	1月	2月	3月	4月
消費者物価指数（4市平均）	-0.1	0.1	0.3	0.2
" ※	0.5	0.5	0.6	0.6
"（全国）	-0.2	-0.1	0.3	0.3

3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数 (景気の現状を示す指標) は 68.6 となり、前月と比較して 10.5 ポイント下降した。一致指数からみる県内経済の基調は、足踏みを示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 6 か月ぶりに下回り 28.6%となった。

(※前月差：ポイント)	1月	2月	3月	4月
CI一致指数 ※	9.1	4.8	-8.7	-10.5
3か月後方移動平均※	4.7	2.9	1.8	-4.8
7か月後方移動平均※	0.9	2.1	0.9	-0.6
DI一致指数 (%)	85.7	71.4	57.1	28.6

- 先行指数 (4 月時点よりも半年程度先の景気を示す指標) は 82.2 となり、前月と比較して 13.1 ポイント下降した。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 7 か月ぶりに下回り 28.6%となった。

(※前月差：ポイント)	1月	2月	3月	4月
CI先行指数 ※	7.9	8.3	-3.8	-13.1
3か月後方移動平均※	2.4	5.4	4.2	-2.9
7か月後方移動平均※	1.2	2.1	0.9	-0.8
DI先行指数 (%)	71.4	71.4	64.3	28.6

